

設定してみよう!

- やりたいことを確認し、タイマーの設定計画表(別紙)を記入します。
 - 本製品をコンセントに差し込んで設定を始めましょう。
- ⚠ 本製品をコンセントに差し込んでいない場合、時刻設定のバックアップ期間の目安は約1週間です。

タイマーの設定 目次

ページ -2- **① 初期設定**
 現在時刻を設定します。

ページ -2- **② タイマーの設定**
 タイマーの設定計画表に沿って差込口 1 ~ 6 それぞれを設定します。
 繰り返す
 差込口にプログラムP1~P8を設定する。 (2-2) ページ -2-

ページ -2- **③ タイマーの設定終了**

ページ -2- **タイマーの設定の確認 完了**
 本製品を保管庫などに設置し、機器を接続して完了です。

差込口番号
 1
 2
 3
 4
 5
 6

同梱のタイマー設定のポイントシール付属 ▼

設定ができれば本誌品の近くに貼っておこう。

タイマーの設定のポイント

① 設定・確定ボタン
 同時に押し続けてチャイルドロック解除。
 ※チャイルドロック解除後は電源が復帰して3秒長押しで電源状態をオートに。
 ② 設定ボタンを押す。
 ③ ④~⑥までの手順は同じ。
 ④ 各プログラム番号P1~P8をP1入、P2入、P3入、P4入、P5入、P6入、P7入、P8入で選択し、設定します。

⑤ 曜日を選択し、△ボタンで移動して月・火・水・木・金・土・日を選択し、ボタンを押す。
 ※設定を間違えたら⑤の操作を繰り返して正しい日を選択する。
 ⑥ ④~⑥を繰り返す。⑦~⑧
 ⑦ 常時通電の設定。⑨~⑩
 ⑧ 切時間を設定せずに、△ボタンを押す。
 ※本製品をコンセントに挿していない場合には、設定を繰り返して電源が復帰するまで待たなければなりません。
 ※時刻がリセットされた場合
 ⑨ ⑨ボタンを3秒長押し。
 ⑩ 曜日を選択し、△ボタンで移動して「時間」を合わせて△ボタン。
 「分」を合わせて△ボタン。

操作手順を動画で視聴できる!

常時通電口を設定したいとき

動画視聴の際のご注意:
 設定の途中で約30秒間操作しないとメイン画面に戻ります。設定内容が消えてしまいますのでご注意ください。

ページ -3- 困ったことが起こったら...

1 初期設定

1-1 チャイルドロックの解除

「設定」ボタンと「確定」ボタンを同時に3秒長押し。

注意:
1分操作しないと
チャイルドロックが
かかります。

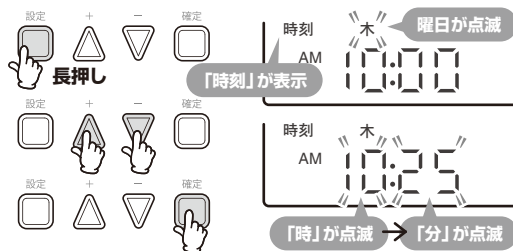


1-2 現在時刻の設定

「設定」ボタンを長押しして「時刻」を表示させる。

曜日の設定 「+」または「-」ボタンを押して曜日を選択し、「確定」ボタンを押して確定。

時・分の設定 「+」または「-」ボタンを押して曜日を選択し、「確定」ボタンを押して確定。



2 タイマー(入時間・切時間)の設定

2-1 通電モードを「オート」に設定

タイマー設定時は「確定」ボタンを押して通電表示を「オート」に合わせる。
(「確定」ボタンを押すたび、通電モードが「オート」→「入」→「切」と推移します。)



「オート」表示で
タイマーの設定
ができる
タイマーモード
に入ります。

2-2 プログラムの設定 差込口番号ごとにプログラム[P1~P8]の電源「入」/「切」を設定する。

差込口の選択 「設定」ボタンを押して「PGM」を表示させる。

「設定」ボタンを押すと表示のように差込口番号「1」が点滅。さらに「設定」ボタンを押すと順に差込口番号が推移するのでタイマー設定をする差込口番号で「確定」ボタンを押す。

1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → (メイン画面の差込口番号の表示がない画面) → 1 ……

※設定が完了したプログラムはパネルの画面左上に表示されます。



「入」設定をする

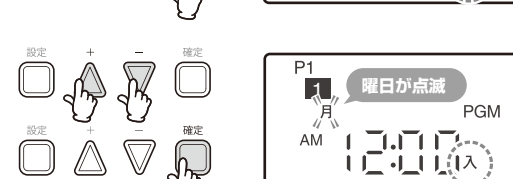
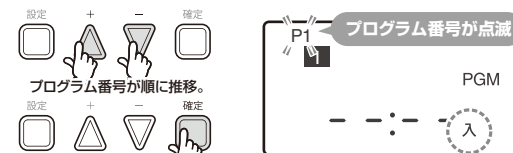
画面右下に「入」の通電表示があり、プログラム番号「P1」が点滅している状態で「確定」ボタンを押して「P1」の設定を開始。

2-3 曜日設定

画面右下に「入」の通電表示が出ている状態で電源を入れる曜日を選択。「+」ボタンまたは「-」ボタンで曜日を選択し「確定」ボタン。

選択できる曜日の表示が △▽ ボタンで下記の順に推移します。

月 → 火 → 水 → 木 → 金 → 土 → 日 → 月火水木金土日(毎日) → 月火水木金 → 土日 → 月 → 土 → 月水金 → 火木土 → 月火水 → 木金土 →



2-4 時刻設定

「時」「分」の設定に推移するので「+」ボタンまたは「-」ボタンで「時」「分」を設定し、「確定」ボタン。



「切」設定をする

続いて画面右下の通電表示が「切」に変わるので、プログラム番号「P1」の電源を切る設定を行う。曜日・時刻・分の「切」設定は「入」設定の時と同じ。

または → 「確定」ボタンを押して次のプログラム番号へすすむ。

「設定」ボタンを押して次の差込口の設定へすすむ。



3 タイマーの設定終了

タイマー設定を終了するときは「PGM」が消えるまで「設定」ボタンを押す。メイン画面に戻るので、通電モードがオートになっていることを確認して完了。

タイマーの設定の確認

チャイルドロック機能が働いている状態で「設定」ボタンを押すとタイマー確認モードになります。

さらに「設定」ボタンを押して差込口番号を選択。「確定」ボタンを押し、

「+」または「-」ボタンでプログラム番号を選択。内容を確認。もう一度「確定」ボタンを押すと差込口番号の選択画面に戻ります。



完了

30秒間ボタン無操作で、メイン画面に戻ります。

※タイマー確認モードではチャイルドロックを解除できません。

常時通電口を設定したいとき

2-2 → 2-3 → 2-4 の手順で「入時間」を確定し、常時通電の設定では「切」設定を行いません。



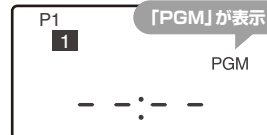
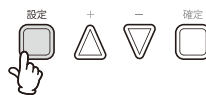
困ったことが起こったら・・・

？ プログラム設定を間違えたときは？

対処1 設定の途中なら一旦、タイマーの設定を終了させてやり直す。

または、30秒ほど操作せずに待つとメイン画面に戻るので(2-2)からやり直す。
※「確定」を押していない設定は失われています。

●一旦、「確定」ボタンを押します。
タイマー設定を終了するときは「PGM」が消えるまで「設定」ボタンを押します。



(2-2) → (2-3) → (2-4)

間違った設定の差込口番号、プログラム番号に推移させ、**間違った箇所の設定をやり直す。**

対処2 すでに設定を終えているなら間違えたタイマーの設定をやり直す。

●チャイルドロックを解除する。(1-1)
●差込口の選択画面の前(メイン画面)に戻るので、間違った設定の差込口番号、プログラム番号に推移させ、**間違った箇所の設定をやり直す。**

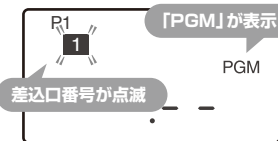
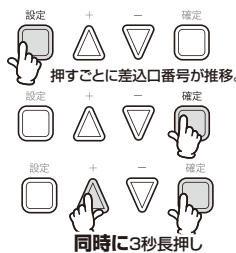


(2-2) → (2-3) → (2-4)

？ 時刻設定(時計)以外の設定を消したいときは？

対処1 ひとつの差込口のプログラム設定のみを削除する。

●チャイルドロックを解除。(1-1)
●「設定」ボタンを押して「PGM」を表示。
●「設定」ボタンを押すと差込口番号1が点滅。
●さらに「設定」ボタンを押すと差込口番号が推移するのでタイマー設定を消去する差込口番号で「確定」ボタンを押す。(2-2)
●「+」と「確定」ボタンを同時に3秒長押しして設定クリア。



対処2 すべての差込口でプログラムを削除する。

●チャイルドロックを解除。(1-1)
●「設定」ボタンを押して「PGM」を表示。
●「+」と「確定」ボタンを同時に3秒長押しして設定クリア。



？ 通電や充電が不要な期間はコンセントを抜いてもいいですか？

対処 コンセントを抜いても問題ありませんが、抜いている期間によっては時刻設定(時計)がリセットされます。

●本製品をコンセントに差込んでいないときは内蔵電池の消耗を防ぐため自動的に省エネモードに切り替わります。
※コンセントに差込んでいない省エネモードのときは通電表示には何も表示されません。コンセントに差込んでいるときは、**通電モード(オート/入/切)**のいずれかが表示されています。



⚠ 本製品をコンセントから抜いたままにしておくと、約1週間(目安)で時刻の設定が消去されます。表示画面がデフォルトになっていた場合は時刻が消去されていますので、再設定してください。→ (1-2)
※右図はデフォルト画面です。



※60秒間の操作がなければ、「ロック」マークが出てきます。

？ 今だけ、タイマー設定を無視していっぺんに充電できますか？

対処 できます。
通電モードを「オート」から「入」に変更するとタイマーの設定は保存したまま、電源が常に入った状態になります。

●チャイルドロックを解除。(1-1)
●「確定」ボタンを押して通電表示を「入」に合わせる。(「確定」ボタンを押すたび、通電モードが「オート」→「入」→「切」と推移します。)(2-1)



？ 突然、電源が入らなくなった場合は？

⚠ 過電流保護対策として、最大1500Wを超えると電流を遮断するサーキットプロテクタを搭載しています。

対処 過電流の原因と思われる機器を差込口から外して、サーキットプロテクタのつまみを押し込む。

●サーキットプロテクタが作動し通電が遮断された場合、一旦、本製品のコンセントを抜く。
●過電流の原因と思われる機器は外してください。(例)カラーレーザープリンター、コピー機、プロジェクター、電熱器具、オーブンレンジ、冷蔵庫など
●サーキットプロテクタのつまみを押し込んで復旧させる。
●本製品をコンセントに差し込んで通電させる。

